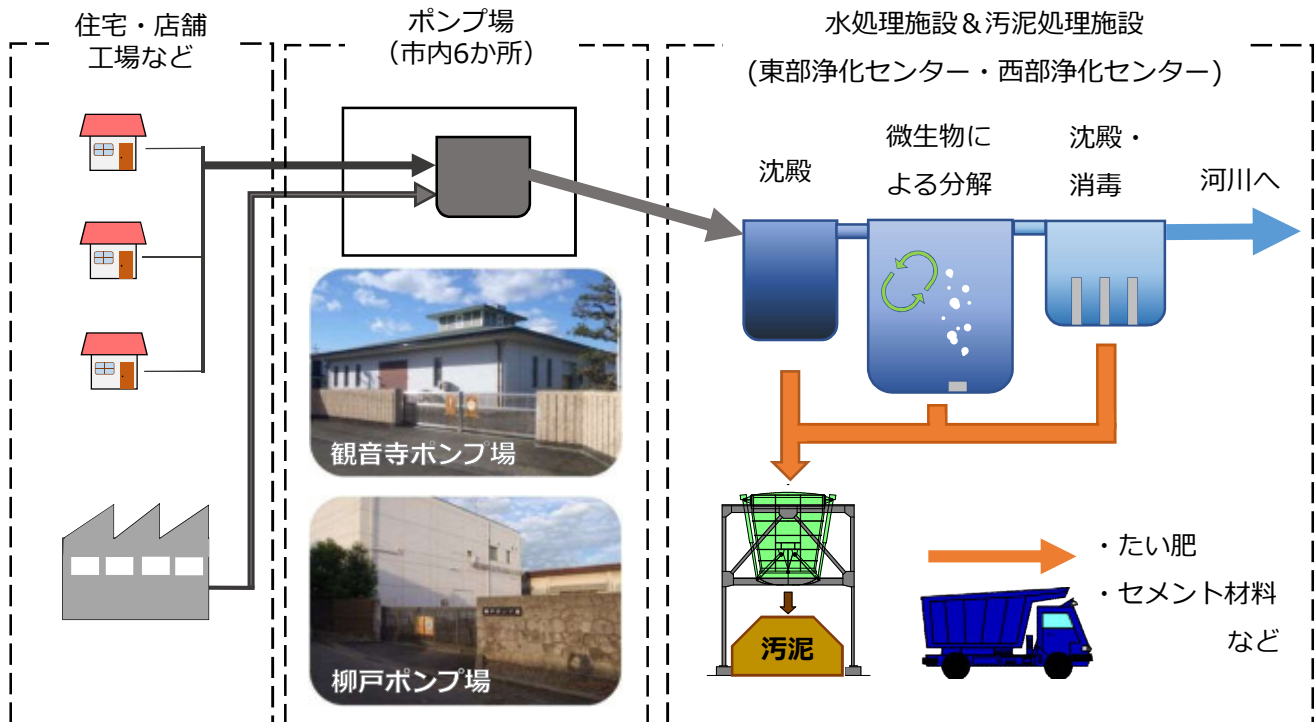


1. 一宮市の下水道施設（ポンプ場、水処理施設、汚泥処理施設）



市内の下水を集めて浄化センターへ送る施設です。市内6か所あるポンプ場の運転は各浄化センターで集中管理しています。

浄化センターに集められた汚水は、沈殿や微生物の働きなどによってきれいな水にされたあと、河川へ放流されます。水の処理によって発生する汚泥は、たい肥やセメントの材料として有効利用されます。

2. 合流式下水道改善対策

雨水と汚水を一緒に処理する合流式下水道では、雨天時に大量の雨水が流れ込むと、一部が汚水と混ざって河川に放流されることがあります。特に降り始めの雨水には汚れを多く含むため、未処理で放流すると河川が汚れる原因となります。これを防ぐために、雨天時に合流式下水道改善施設に下水を一時的に貯留し、沈でんや消毒処理を行うことで未処理下水の放流を減らしています。



合流式下水道改善施設（東部浄化センター内）